

地域公共交通に関する特別委員会

【設置目的】

持続可能な地域公共交通の実現に向けた諸問題に関する調査

【調査項目（案）】

○持続可能な地域公共交通の再構築に関する事項

- ・ 目指す地域公共交通の将来像の具体化
（階層化されたネットワークの絵姿とサービス水準）
- ・ 地域公共交通における行政の役割
- ・ 次期地域公共交通計画の策定

【調査理由】

鉄道や市電、路線バスなどの公共交通は、市民の通勤・通学といった日常生活のみならず、まちの賑わい創出や環境負荷の低減など様々な効果があり、地域社会形成のために必要不可欠なものである。

また、超高齢社会の進行などにより、移動手段を持たない高齢者が増加していくことが予想される中、公共交通機関が地域社会に果たす役割はますます重要となる。

しかしながら、地域公共交通は利用者数減少に加え、燃料費高騰や運転士不足の深刻化など、公共交通事業者の経営環境は一層厳しさを増しており、特に路線バス事業では路線の廃止や減便が進行するなど、維持・確保が喫緊の課題となっている。

これまで本市においても、多核連携都市の実現に向けた移動しやすい地域公共交通の確立を目指し、各施策に取り組んでいるところであるが、急速な人口減少やＩＣＴ技術の進展など、社会情勢の変化を背景に、地域の移動ニーズを的確に捉えた、誰もが安心して移動しやすい地域公共交通の再構築は急務である。

そのためには、市民・交通事業者・行政が目指すべき地域公共交通の将来像を共有するとともに、行政の役割をより明確にすることが重要である。その上で、現行の熊本地域公共交通計画期間の終了を見据え、次期地域公共交通計画の策定等が必要である。

このことから、本委員会では、持続可能な地域公共交通の実現に向け、これらの三つの項目について、調査を行うものである。